

但馬皇女の高市皇子の宮に在しし時に、竊(ひそ)かに穂積皇子に接(あ)ひ、事既に形(あら)はれて作りませる御歌一首					
人事乎	繁美許知痛美	己世介	未渡	朝川渡	英文はマクミラン(2019)による
人言を	繁み言痛み	己が世に	いまだ渡らぬ	朝川渡る	
ひとごとを	しげみこちたみ	おのがよに	いまだわたらぬ	あさかはわたる	万葉集 巻二 116 但馬皇女
人のうわさが多くて、うるさくてたまらない。					
今までに渡ったことのない川を、朝、渡り、あの人に会いに行くのだ。					
(明るいから人に見られるだろうが、かまうものか。)					
Because the endless harsh rumors make it pointless to hide, I set off this morning to do something I have not dared even once on my life, stride across the daylight river!					

【文献】

ピーター・J・マクミラン(2019): 英語で味わう万葉集, 文春新書 1245